

OB 紹介

〈生活の木 開発営業本部〉
澤田 研二さん



Q. 現在の仕事を教えてください。

「株式会社生活の木」という東京・原宿に本社を置く企業に勤めています。アロマやハーブの仕入から商品の製造、全国約120店舗の直営店の運営などを行っている企業です。2011年の入社後、広島店舗で店長を経て、5年前からB2Bビジネスを請け負っています。他企業・他ブランドとのコラボレーション商品の企画・開発や、イベントの企画・運営を通して、自社のブランド価値を広げ、高める仕事です。

Q. 仕事のやりがい教えてください。

規模はまだまだ小さな業界ですが、将来性や外延性のある業界です。そのトップリーダーである企業で出来る事は多種多様。様々な業界の顧客と繋がり、自社やアロマ・ハーブ業界の可能性を広げていけるポジションにいます。楽しくやりがいを感じています。また、自身が担当した企画が成功を収めた時やヒット商品を生み出

した時の喜びが、仕事を頑張る原動力です。

Q. 生活の木HP新卒採用のページより、入社1年目で店長に、入社2年目で開発営業本部に異動となったという記事を拝見したのですが、その昇進に繋がったと思われる自分の長所は何だと思いますか。

とにかく「やってみる」ことだと思います。入社1年目で店長というのは、当時では異例の選出でした。もちろん自信もスキルも、何もかも人より出遅れていたと思うのですが、「やってみよう」の気持ちは常に持っていました。現在も所属する開発営業本部での業務にもつながっています。新たな企画や前例のない商品企画にチャレンジし続けたことで、実績も伴ってきました。なにごとにも、スタートII「やってみる」がないと、ゴールがありません。

Q. 総合科学部を選んだ理由は何かですか。

高校生の当時というよりも、小さな頃から所謂「将来の夢」というのが全くなく、将来どうなるのかが自分でも想像できないでいました。そんな私に、高校時代の担任が進めてくださったのがきっかけです。というのも、その担任の出身学校（出身学部）であり、「いろいろな可能性を探るには最適な学部だ」という言葉を聞き、総合科学部への進学を決めました。

Q. 大学生活でやっていて良かったこと、やっておけば良かったことは何ですか。

色々な人と触れ合えたことが一番よかったです。総合科学部ならではないのですが、文理関係なく様々なタイプの人がいること。部活もしていましたし、アルバイトなどでもたくさんの人と接する機会があったので、人と触れ合うことを楽しみながら過ごすことができました。恥ずかしながら勉学に関しては、決して勤勉だったとは言えませんが、勉学の知

識と同様に、対人関係のスキルは今の仕事においても重要だと感じています。

海外での経験を積んでおけばよかった、と後悔しています。言語学を専攻しながら、海外留学の経験がないことが未だに心残りです。日本の企業ではありながら、外国語を必要とするシーンは多く、また海外文化を当たり前に知っているべき時代になっているので、海外での経験は必ず社会に出ても活かると思います。

Q. どのような学生生活を送っていましたか。

勉強に部活に、アルバイトに遊びに、ひたすら動き回っていました。今や、その反動かあまり活発ではなくなつたくらい……。今思えば、4年間なんてあっという間だったなと思います。

Q. 大学で学んだことや培ったことが社会でどう生かされていると感じていますか。

知識や経験は、いくらあっても損することはないと思います。ドイツ語を専攻していましたが、社会人になって一度もドイツ語を話す機会は、今のところ一度もありません。しかし、ドイツ文学を齧り、ドイツ文化を齧り……。いろいろと「唾をつけて」おいたおかげで、顧客とのふとした時の何気ない会話にも活かしているな、と思います。学生当時は、今、経験していることや勉強していることが、どう活かせるかは分からないと思います。よほどの専門職に就かない限り、分からないことだとも思います。なので、知識や経験は決して裏切らないと思っています。

Q. 現在の総科生に一言

総合科学部は色々な情報が溢れている場所です。そこに身を置けたことは、社会に出てきつと役に立つと思います。とにかく色々なことに興味をもってチャレンジしてみてください。遊んでばかりではダメですが、遊びの中にも何か

の「種」はあると思います。もちろん、勉強・部活・サークル活動にも。社会に出れば、その「種」はきつと芽を出すはず。何でも「やったもん勝ち」です。

29 生 中山恵里